

## 令和4年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・グループによる課題解決学習を行うことにより、互いに支え合い主体的な学びを促すことができた。
- ・ICT 機器を活用することにより視覚的に捉える授業を展開するとともに、板書時間を短縮して作業時間を多く確保することができた。
- ・実習開始前に実演と実習を繰り返し行った。また、ICT 機器を活用し作業手順を常に確認できる環境を作り、技能の定着を図ることができた。

#### (2) 課題

- ・作業全体への見通しをもって知識を活用しようとする生徒が少ない。授業の導入、計画や設計の際に知識と作業の繋がりを意識させる取組を多く取り入れていく必要がある。
- ・日常生活の中にある問題を把握し、生活をより良くしようとするための課題を設定することにより、作品の使用目的や生活を改善しようとする力を育む力を身に付けることが必要である。

### 2 観点別課題

#### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識として習得したことが技能へと繋がっていることを考えさせ、作業を行っていくことが必要である。	工具や道具を使用して効率よく作業する方法や、生活を豊かにするために技術がどのように活用されているかを考えさせる。	作業に対する関心は大きくあるものの、それに必要な知識や技能を主体的に習得しようとする意識が足りない。

#### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識や技能の活用に個人差があり、授業の進め方や作業時の座る位置等を工夫していく必要がある。	学んだ知識や技能を生かして、生活をより良い方向へ変化させていくために必要な事柄を考える機会を多く設定する。	生徒により授業に主体的に取り組む意識に差がある。

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品の製作や課題解決に向けた知識や技能の習得には大きく個人差がある。知識と技能の定着を図る必要がある。	学び得た知識や技能を適切に活用し、自らの考えを課題や作品に表現する力を育成することが必要である。	授業に積極的に取り組もうとする生徒が多くいるが、単元の内容により、取り組む意識に差が出てしまうことがある。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実演と実習を繰り返し行い、知識や技能をどのように活用するべきかを考えさせる。	社会の中で活用されている技術について具体例や調べ学習を実施する中で、課題を設定させ、解決策を考える。	人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題解決をしようとする意識を高めていく。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒の技術習得の違いに応じて、指導方法や内容を工夫し、ものづくりの概念等を理解させ、技能の習得を図る。	学習の振り返りレポート等を活用して、生活をより良くしていくための工夫や解決策を考えさせ、表現する力を身に付けさせる。	生徒が興味をもち主体的に学習に取り組める課題の設定を行い、課題への振り返りや工夫する視点などをもちたせ、意欲を高める。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題解決型の学習を多く取り入れて、基礎的、基本的な知識やそれらに係る技能の定着を図る。	事前課題や振り返り課題を活用して、自らの考えを明確にした作品づくりに取り組ませ、表現する力の育成と課題を解決する力の充実を図る。	より良い生活の実現に向けて、生活課題と目標を個人で設定し、生活を創造したり実践したりしようとする態度を養う。